

とやま環境チャレンジ10について

1 事業目的

県内の10歳の児童（小学校4年生）が、地球温暖化や3R、食品ロスなどの環境問題について学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価するという一連の取組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルを啓発し、家庭における地球温暖化対策の推進を図る。

2 事業の流れ

- (1) 地球温暖化防止活動推進員*が、各小学校において地球温暖化や3R、食品ロスなどの環境問題に関する授業（環境チャレンジ教室前編）を実施する。
- (2) 授業を受けた児童が、富山県の推進する4つの取組みと、家族と相談の上、自ら決定する6つの取組みの計10項目を地球温暖化対策の目標として設定する。
- (3) 各児童が中心となって、家族とともに10項目の取組みを原則4週間実践する。また、定期的（1週間に1回程度）に自己チェックを行う。実践終了後、事務局にとりくみノートを送付する。
- (4) 事務局で各校の実施結果を「チャレンジ10通信」として取りまとめ、各小学校に配布する。その後、各小学校において取組みの振り返り授業（環境チャレンジ教室後編）を実施し、今後の取組みの継続を促す。

※地球温暖化防止活動推進員

県が委嘱を行い、地域において地球温暖化防止に関する住民への普及啓発、調査、指導及び助言等を行う。（現在100名）

3 実施小学校

5年度においては、県内68校で実施する予定。

（児童 2,854名が参加予定）

年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
実施校	10	27	48	57	66	63	61	63
参加児童	258	1,098	2,140	2,695	3,474	3,007	3,164	3,554
年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
実施校	65	68	67	66	71	66	64	69
参加児童	3,240	3,297	3,107	3,784	3,403	2,842	3,503	3,022
年度	R2年度	R3年度	R4年度					
実施校	63	70	63					
参加児童	2,710	3,543	3,038					

4 事業効果（ご家族への事後アンケート：令和4年度）

① 地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？

② 習慣化した取組みはありますか？

